

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト） 交付決定事業一覧（令和8年度第2回交付決定）

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	岩手県 一関市	ローカルスタンダードビレッジ 事業	15,705 国費：10,470 地方費：5,235	15,705	一関信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ●一関市は、県内2位の面積を有するが、山林・原野が約6割、農地が約2割を占める中山間地域であり、耕作放棄地や空き家の増加、農業の担い手不足が深刻な課題。 ●盛岡市と仙台市の中間に位置することから、若者が高校卒業後に市外へ流出しやすく、Uターン希望者や移住希望者などが地域でチャレンジしやすい環境整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史ある古民家をリノベーションし、地域の自然・歴史・文化を活かした、農業振興、移住促進、創業支援の複合事業を行う。 ●地域農産物を活用したメニューを提供するカフェ、農業体験・秀衡塗等の手工芸体験、農産物生産者や工芸作家、移住者・創業希望者のチャレンジショップを運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域農産物の活用、農業体験、チャレンジショップによる農業振興 ●チャレンジショップによる移住・創業支援、産業振興 ●空き家の有効活用と景観保全 ●地域内の農業、手工業、観光業などの連携による地域経済循環
2	岩手県 洋野町	小さな商い創出と商店街のランド マークとなる複合施設の建設	17,990 国費：11,993 地方費：5,997	18,000	岩手銀行 日本政策金融公庫	<ul style="list-style-type: none"> ●洋野町は漁業と林業を中心に発展してきたが、従事者の高齢化や後継者不足の課題に加え、大野木工などの伝統産業の継承も懸念。 ●高校・大学卒業を期に都市部に転出する若者が多く、Uターンを希望しても、新しいビジネスを試せる機会が少ないなど活動機会・挑戦機会が不足しており、定住が進まない。 ●町の中心にある商店街では空き店舗が増加し、日常的な住民交流の場や、まちの賑わいが失われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商店街の空き店舗を「複合交流施設」へとリノベーションし、地域産業のハブとなる拠点を整備・運営する。 ●「地域工芸等の雑貨店」「貸し棚書店」「貸しギャラリー」を自社運営し、地域の特産品や文化を対外的に発信・販売する。 ●テナント管理・運営を通じた伴走型の創業支援を行い、マルシェや各種イベントの開催により出店者のテストマーケティングを促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元食材や木材の活用による地域産業の活性化と伝統産業の継承 ●各種イベント開催を通じた挑戦機会の創出による創業支援と定住促進 ●商店街の賑わいづくり、中心市街地の活性化による地域経済循環の創出
3	福岡県 宮若市	地域一体的な食文化体験と里山の 原風景を楽しむ過年型宿泊施設「オーベルジュ」等整備事業	50,000 国費：25,000 地方費：25,000	109,000	福岡銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●かつて石炭産業により栄えた宮若市は、人口減少と高齢化が進み、基幹産業である農業では、担い手不足、限定的な販路、ブランド力不足といった課題に直面している。 ●主要な観光地である脇田温泉では、担い手不足による宿泊施設の廃業が相次ぎ、観光業が衰退している。 ●市では、福岡市と北九州市のほぼ中間というアクセス面で恵まれた環境を活かし、交流人口や関係人口の増加に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミシュラン星獲得シェフが、レストランと宿泊施設が一体となったオーベルジュとカフェを新たに整備・運営する。 ●レストランでは地元食材や地域の食文化「発酵」を活用した料理を提供、カフェでは地域の果実を使用したスイーツなどを提供し、地域の魅力や文化を発信する。 ●食育事業や料理教室などの交流イベントの開催や、ふるさと納税の返礼品開発なども行い、交流人口や関係人口の増加を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●飲食と宿泊をセットで事業化することにより、地元農業と観光業の活性化を図る ●地元食材の活用や地域の食文化の継承により、農産物のブランド力向上やシニアブランディングが期待される ●交流イベントの開催やふるさと納税の返礼品開発による交流人口・関係人口の増加
4	長崎県 五島市	蒸溜所ツーリズムによる地方再 生事業	48,762 国費：36,571 地方費：12,191	97,526	日本政策金融公庫 ふるさと融資	<ul style="list-style-type: none"> ●五島市は、美しい自然景観や歴史・文化的な観光資源に恵まれているが、閑散期となる秋冬や雨天時に楽しめる観光コンテンツが少ない。 ●平成30年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されたが、インバウンドの取り込みも十分ではなく、地域への経済効果は限定的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●クラフトジンを蒸溜所の隣地に観光拠点施設を整備し、飲食・観光事業を新たに行う。 ●建物には五島産のスギ・ヒノキや五島鉱山の鯨石を使用し、料理には地元食材を活用。市内の加工業者と連携し、クラフトジンにあおつみやレシビの開発も行う。 ●パネル展示や蒸溜所見学のほか、隣接する教会での世界文化遺産の説明など、文化観光と酒づくりを融合した新たなツアーを実施。ホテル、旅行代理店、船舶業者などの地域の事業者とも連携し、世界文化遺産の島ならではの蒸溜所ツーリズムを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな観光コンテンツの造成、地元の文化などの情報発信により、来訪者の増加や関係人口の増加が期待される ●地元食材や加工品の活用による地域産業の活性化 ●ホテルや旅行代理店との連携した蒸溜所ツーリズムにより、地域経済の循環に寄与